

キャラクター「やる気まんまん」

本園は教育目標「明るくたくましい子」の達成を目指し、キャラクター「やる気まんまん」のお手製旗を作成しました。この旗は、遠足・運動会・避難訓練・当番活動など、日常生活や行事に大活躍しています。運動会では、応援団旗として競技を盛り上げ、子どもの中に仲間意識がでてきました。



バス遠足では、クラスごとの旗の下にすぐ集合することができ、他園の子どもたちが大勢集まっ

ていた場所でも目印になりました。毎日の運動遊びでは、運動器具や固定遊具を組み合わせて、サーキット遊びを通して「やる気」を育てています。「鉄棒できん、縄跳びとべん、タイヤとべん、縄跳び結べん」と言っていた子どもたちでしたが、「やる気まんまんが見ているよ」と声を掛けると「頑張る」と言いなが

らやり抜こうとする姿に「やる気」の心が育ってきたことを実感しています。



「地域の皆さんに感謝」

作陶教室では、肥田陶磁器工業協同組合のご協力により、子どもたちはマイ茶わん作りに取り組み、「粘土気持ちいい」「本当の茶わんみたい」「いつできるの」と楽しみにしているようです。出来上がったマイ茶わんで「抹茶教室」を計画しています。また、リトミック遊びや和太鼓体験でも専門教師を招いて取り組んでいます。

地域の皆さんのご協力やご支援で、子どもたちのやる気や最後までやり抜く力、思いやりの心をはぐくんでいます。



 しょうぼう 119

- 住宅火災から大切な生命を守るために、
- 住宅用火災警報器を設置してください ●

消防本部 ・ ☎ 530123

着衣着火にご注意ください!

皆さんは「着衣着火」という言葉をご存じですか? ガスコンロやストーブの火(じか火)が衣服に着火することをいいます。ガスコンロを使った調理中に発生することが最も多く、着火する部分は袖、すそ、胸部、腹部の順に多くなっています。季節を問わず発生していますが、特に寒い季節は着膨れの状態になり、燃えやすい繊維製品(レーヨン・綿・アクリルなど)を着用する機会が多くなるため、特に注意をする必要があります。土岐市内においても、平成19年からの3年間で着衣着火が原因と推測される火災が2件発生していますので、皆さんも注意をしましょう。



【事故事例】

- 調理中、ガスコンロの火が衣服に着火した。
- 仏壇のろうそくの火が衣服に着火した。
- たばこを吸うため着けたライターの火が、首に巻いていたスカーフに着火した。

【衣服に着火してしまったら】

- 風呂場、台所、花瓶の水など、手近の水で直ちに火を消す。
- やけどをしてしまったら、水道水で冷やし続ける。
- 衣服に火が着いたまま走らない(火が拡大します)。

【事故を防ぐためには】

- 火口が複数(手前と奥)あるコンロで、奥の火口を使用するときは、手前の火口を消す。
- 袖、すその広がった衣服を着用して調理をしない。
- 燃えにくい素材『防災製品』の衣類を着用する。